

サマーレビュー協議事項調書

1 部局名 (課名)	財務部 (財政課)	
2 協議事項 (案件名)	中期財政計画の策定について	
3 背景・現状 (現状把握で きる統計数 値など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の中期財政計画の計画期間が 2024 (R6) 年度で終期を迎える。 計画期間 2015～2024 (H27～R6) 財政指標の目標 <ul style="list-style-type: none"> ①一人あたり市債残高 550 千円/人以下 ②実質公債費比率 類似政令指定都市平均を下回る ③将来負担比率 実質 0% 近傍を維持 	
4 検討経過・ 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中期財政計画の策定について、方針を決定する時期にある。 ・ 次期中期財政計画の策定にあたって、時代のニーズに応じた財政指標の目標設定が必要である。 	
5-1 方向性の 提案 (目指 すべき姿)	<p>以下のとおり、次期中期財政計画の策定を進める。</p> <p>【中期財政計画の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少・少子高齢化のさらなる進展の可能性もある中、時代の変化に対応できる財政基盤を構築し、持続可能な財政運営を継続するため、中期財政計画を策定する必要がある。 ・ 政令指定都市では、名称や策定方法の違いはあるが、全ての都市において中長期的な視点に基づく財政見通し・計画を策定している。 <p>【計画期間】</p> <p>基本計画とあわせて、2025～2034 (R7～R16) を計画期間とする。</p> <p>【策定方法】</p> <p>財政フレーム (中長期的な収支の概算見通し) として策定</p> <p>【財政指標の目標】</p> <p>次期計画における目標は、収支見通しの試算結果を踏まえて検討する。</p>	
5-2 上記の方 向性決定 に向け議 論する事 項 (妥当性、 必要性、有効 性など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中期財政計画の計画期間 ・ 次期計画の策定方法 ・ 財政指標の目標 	
6 結果	<input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める <input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	<p>具体的内容</p>
7 その他		